

京都市「ジョブパークモデル」事業の推進について

【担当省庁】経済産業省、中小企業庁、厚生労働省

京都府を取り巻く経済・雇用情勢は、依然として大幅な改善が見込めない状況にあります。

このような状況を踏まえ、京都府では、中小企業の中核人材の育成や未来を担う人づくりの取組など、緊急雇用対策基金（重点分野雇用創造事業、原則平成 23 年度まで）を活用した種々の取組を京都ジョブパークにおいて「京都モデル」として進めているところです。

この京都府の先進的な取組を次年度以降も継続して展開できるよう、次のとおり提案します。

＜京都府からの提案＞

1 未来を担う人づくり事業の推進

- (1) 府内企業に求められる中核即戦力人材の育成を産学公で行う「京都未来を担う人づくりサポートセンター」は、若年離職者等の就業支援と中小企業の人材確保に有効であることから、基金事業を継続すること。
- (2) 高校新卒未就職者に賃金を支給しながら人材育成プログラム等を行い就労を支援する「高校生緊急就職支援センター」は、全国に先がけた新たなセーフティネットとして位置付けられることから、基金事業を継続すること。

2 障害者の就労支援制度の充実

- (1) 障害者に賃金を支給しながら研修等を行い就労を支援する「障害者就労ステップアップ事業」について、基金事業を継続すること。
- (2) 国と地方公共団体が連携して実施する「ふるさとハローワーク就職支援事業」（国委託事業）により、京都府では障害者一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援策が実現できているところであり、本事業を継続・充実すること。

【京都式ジョブパークモデルの特色】

- ・ 未就職者を直接雇用（3～6ヶ月程度）。給料を払いながら、座学での研修や、トライアウトワーキング（実践研修）等を通じて人材を育成。
- ・ 単に働き口を紹介するという短期的マッチングではなく、人づくりを含む中期的マッチング。

京都府の現状・課題等

◆ 京都未来を担う人づくり推進事業

- ① 京都企業に就職を希望する34歳までの若年離職者等を全国公募し、「京都未来を担う人づくりサポートセンター」で直接雇用
- ② 社会人としての意識改革研修や大学での人財養成講座(座学・実習)、企業でのトライアウトワーキング(実践研修)等により人材を育成し、府内企業とマッチング
- ③ 対象者と企業が一同に交流するマッチング交流会を開催

◆ 高校生新卒未就職者緊急支援事業

- ① 高校新卒未就職者を「京都府高校生緊急就職支援センター」で直接雇用
- ② 雇用期間中の人材育成プログラム(職業観・職業人意識形成、業界・職種・仕事研究、ビジネスマナー、コミュニケーション、社会福祉活動、ボランティア活動等)の実施

◆ 障害者就労ステップアップ事業

- ① はあとふるジョブカフェ登録者で府内企業への就業を希望する若年の障害者を「京都府障害者就労ステップアップセンター」で直接雇用
- ② 雇用期間中の研修(パソコン技能、コミュニケーション能力等の向上研修、企業実習等)の実施

◆ ふるさとハローワーク就職支援事業の取組状況

< 22 年度実績 >

- ・セミナー実施回数 : 224回
(ヒューマンスキル向上研修、ソーシャルスキル向上研修、面接会対策セミナー等)
- ・セミナー受講者数 : 延べ約800人

【京都府の担当部局】

商工労働観光部	総合就業支援室	075-682-8912
	ものづくり振興課	075-414-5103
	緊急経済・雇用対策課	075-414-4871